

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）

相談支援センターの機能の強化・充実と地域における

相談支援センターのあり方に関する研究

（研究代表者：高山 智子）

分担研究報告書

全国の相談支援センター関係者の情報共有の場とそうした場のニーズに関する検討

研究分担者

高山 智子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部
朝倉 隆司	東京学芸大学医療社会学 保健医療行動科学
池山 晴人	近畿中央胸部疾患センター・地域医療連携室
石川 睦弓	静岡県立静岡がんセンター研究所 患者・家族支援研究部
大松 重宏	兵庫医科大学・社会福祉学部
岡本 直幸	神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防情報研究部門
小川 朝生	国立がん研究センター東病院精神腫瘍学開発部・精神腫瘍学
加藤 雅志	国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部
唐渡 敦也	公益財団法人がん研究会 医療支援センター・企画部
菊内 由貴	国立病院機構四国がんセンターがん相談支援・情報センター
八巻 知香子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部
田尾 絵里子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部

研究協力者

小郷 祐子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部
鈴木 望	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部

研究要旨

全国の相談支援センターに関わるものたちが、互いの取り組みについて情報交換や共有する場はなく、互いの活動状況を知ることは難しい。互いの活動を知ることは、さらなる相談支援センターの発展や課題を克服するきっかけともなり、また全国の相談支援センターの均てん化にも重要な役割を果たすと考えられる。そこで、全国の相談支援センターに関わる人たちを対象とした講演会を企画し、情報共有の場に対して、どのようなニーズがあるのかについて検討を行った。

「がん相談支援研究会」では、各地域の相談支援センターの現状・動向・広報などをテーマにした全国の相談員 10 名による特別講演とパネルディスカッションにより構成され

た。全国 43 都道府県から参加者があり、事後のアンケート調査からは、講演会にて聞いたかった内容として「がんサロンの運営など」や「病院内の相談支援センターの体制作り」が上位にあげられ、他者や他施設から学びたいとする相談支援関係者のニーズは高いことが考えられた。

今回のような全国の相談支援センターの関係者が集うことができる場合は、互いの相談支援センター同士の情報共有の場や、相談支援の標準化や均てん化に向けた活動の一つとして非常に重要であると考えられ、今後もこのような場を作り、継続していくことが必要であると考えられた。

A. 研究目的

がん対策推進基本法（H19 年）の施行以降 5 年目となり、がん診療連携拠点病院や相談支援センターの体制整備が徐々に進められてきた。相談支援センターで行われている取り組みも、その地域や病院の特性に合わせて、徐々に新たな取り組みがはじめられている。しかしながら、全国の相談支援センターに関わるものたちが、互いの取り組みについて情報交換や共有する場はなく、互いの活動状況を知ることは難しい。互いの活動を知ることは、さらなる相談支援センターの発展や課題を克服するきっかけともなり、また全国の相談支援センターの均てん化にも重要な役割を果たすと考えられる。

そこで、このたび、全国の相談支援センターに関わる人たちを対象とした講演会を企画し、情報共有の場に対して、どのようなニーズがあるのかについて検討を行った。

B. 研究方法

H23 年 8 月 6 日に、「がん相談支援研究会」を行った。この研究会は、相談支援センターの後の活動をより充実させ、全国相談支援センターの均てん化を目指すことを目的とした。また、互いの情報共有の場と

するために、各地域の相談支援センターの現状・動向・広報などをテーマにした全国の相談員 10 名による特別講演を行い、パネルディスカッションを実施した。当日プログラムと発表演題詳細については、資料を参照。

なお広報については、全国のがん診療連携拠点病院相談支援センターのメーリングリスト（全 388 施設登録）を介して行った。（倫理面への配慮）

本研究会の開催および参加者からのアンケート調査については、自由意思に基づいて参加または回答するものであり、調査はすべて無記名で行うものであるため、個人情報等について問題はないと考えられる。

C. 研究結果

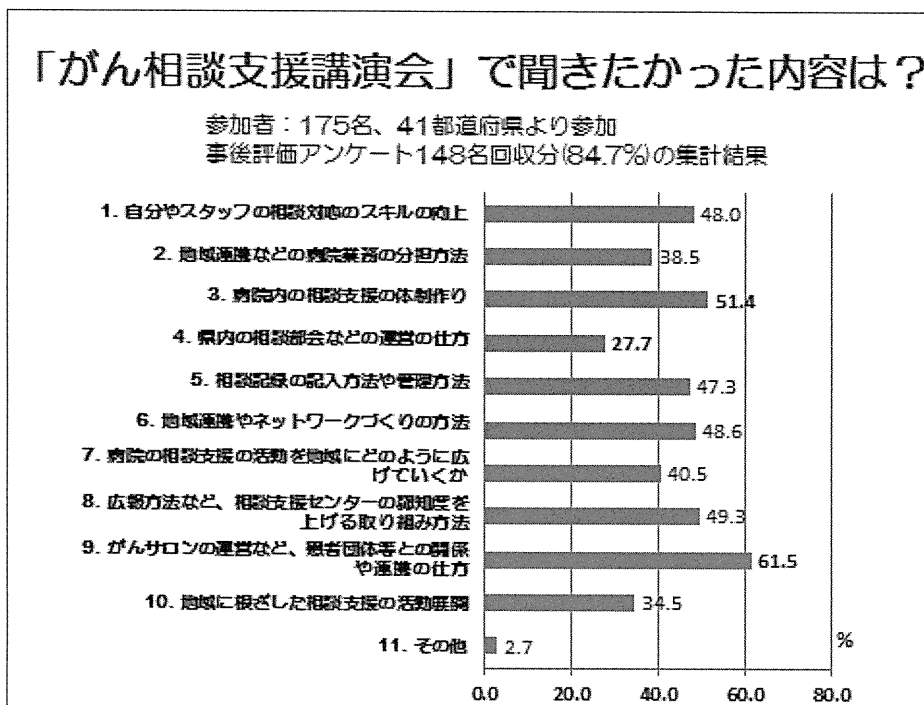
「がん相談支援研究会」は、平成 23 年 8 月 6 日（土） 11 時 00 分～17 時 00 分に、独立行政法人国立がん研究センター内で実施した。相談支援センター関係者に本研究会開催について案内を行い、その結果全国 43 都道府県より 175 名の参加者があった。10 名の相談員による講演では、全国の相談支援センター（10 施設）における工夫や取り組みに関する情報が共有された。また、質疑応答・ディスカッションでは、演者と参加者が共に議論し、さらなる相談支援セ

ンター機能の強化・充実へ向けての知見が共有された。

講演会に対するアンケート結果（回答数：148名）によると、講演会にて聞いたかった内容は、「がんサロンの運営など、患者団体等との関係や連携の仕方について」が91名（61.5%）と最も多く、次いで、「病院内の相談支援センターの体制作りについて」76名（51.4%）、「広報方法など、相談支援センターの認知度を上げる取り組み方法について」73名（49.3%）、「地域連携やネットワークづくりの方法について」72名

（48.6%）、「自分やスタッフの相談対応のスキル向上について」71名（48.0%）であった。（資料参照）

また、講演会を聞いてヒントが得られた内容は、「広報方法など、相談支援センターの認知度を上げる取り組み方法について」74名（50.0%）が最も多く、次いで、「病院内の相談支援の体制作りについて」67名（45.3%）、「がんサロンの運営など、患者団体等との関係や連携の仕方について」64名（43.2%）であった。



D. 考察

今回行った広報は、全国のがん診療連携拠点病院相談支援センター全施設が登録するメーリングリストを介して行ったが、43都道府県からの参加であったように、全国のこのような会への期待は高かったものと考えられる。また、事後の「がん相談支援研究会」で聞いたかった内容をみると、が

んサロンの運営などについてや院内の相談支援の体制づくりなど、個別の施設だけではヒントを見つけにくい内容が上位に挙げられていた。5年経過下とは言え、相談支援センターの取組みが病院にとっては新しいものであり、またそこで働く相談員にとってもまさに試行錯誤ゆえに、こうした他者から学びたいというニーズがあることが

考えられる。

そのため、今回のような全国の相談支援センターの関係者が集うことができる場合は、相談支援センター相談員らを発信源として、互いの相談支援センター同士の情報共有の場や、相談支援の標準化や均てん化に向けた活動の一つとして非常に重要であると考えられる。

E. 結論

全国の相談支援センターに関わるものたちが互いの活動を知ることは、全国の相談支援センターの均てん化にも重要である。そこで、このたび、全国の相談支援センターに関わる人たちを対象とした講演会を企画し、情報共有の場に対して、どのようなニーズがあるのかについて検討を行った。企画した講演会には、全国 43 都道府県からの参加があり、アンケート調査の結果から、他者や他施設から学びたいとする相談支援関係者のニーズは高いと考えられた。今後このような場を作り、継続していくことが必要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

相談支援センターの活動の現状とさらなる機能充実に向けて ～がん相談支援講演会～

【開催主旨】

がん対策推進基本法(H19年)の施行以降5年目となり、がん診療連携拠点病院や相談支援センターの体制整備が徐々に進められてきました。相談支援センターでは、それぞれの地域や病院の特性に合わせて、徐々に新たな取り組みが始められています。けれども、なかなか全国でのお互いの活動状況が見えないのが現状です。

相談支援センターで活躍されるみなさんのお互いの活動を知り、がんの相談支援について、さらに深めていける場をつくれないうことで、今回「がん相談支援講演会」を企画いたしました。当日は、全国北海道から九州までの相談支援センターの活動に携わっている10名の方々にお話しをしていただく予定です。相談支援の実務や運営に関わられる方など、ご関心のある方は是非ご参加ください。

- 日時：平成23年8月6日(土) 11:00～17:00
- 場所：国立がん研究センター管理棟1階 特別会議室
◇ 〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
都営大江戸線A3出口徒歩1分

- 対象：相談支援センターの実務担当者および関係者
- 人数：80～100名程度
- 参加費：無料（交通費は各自ご負担ください）
- 参加申込み方法

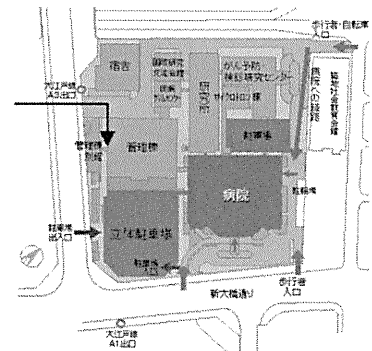
◇ 【参加申込書】に必要事項をご記入の上、FAXまたは電子メールにて、下記『がん相談支援講演会およびワークショップ事務局』までお送りください。

『がん相談支援講演会およびワークショップ事務局』株式会社ワークサポート内

➤ FAX：027-386-6124, 電子メール：ncc-shien@work-support.jp

主催：がん臨床研究事業「相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究（厚生労働科学研究費補助金）」研究班
研究代表者：高山智子（国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部）
電話：03-3542-2511（代表） 内線5685

- ★ 平成23年8月7日(日)に、『「がん相談支援のプロセスの検討」ワークショップ～ある胃がんの事例を考える～』を開催予定です。ご関心のある方は、そちらもぜひご応募ください。



【がん相談支援講演会の当日報告予定者および演題】(敬称略)

石川睦弓 静岡県立がんセンター

「相談記録ツールの紹介」

菊内由貴 四国がんセンター

「ここ最近の愛媛県の相談支援を取り巻く動向」

秋庭聖子 青森県立中央病院

「青森県の広報の方法と冊子等の情報の管理(仮)」

横川史穂子 長野市民病院

「緩和ケア・がん相談支援センターの紹介」

清水奈緒美 神奈川県立がんセンター

「(患者会)自分を取りもどす活動サポート」

石田リツ子 JA 北海道厚生連 帯広厚生病院

「患者の視点に立った相談支援業務の取り組み」

大石美穂 佐賀県立病院好生館

「相談支援センター発信：地域連携ネットワーク構築への取り組み」

米田悦子・織田浩子 国立大学法人 広島大学病院

「広島県のがん相談員意見交換会の取り組みの経緯」

川本たか子 奈良県立医科大学附属病院

「奈良県のがん相談連絡会の取り組み」

北村周子 三重県がん相談支援センター

「三重県がん相談支援センターの取り組みについて」

【参加申込書】

FAX または電子メールで、2011年7月7日（木）12:00 までにお申し込みください。

『がん相談支援講演会およびワークショップ事務局』

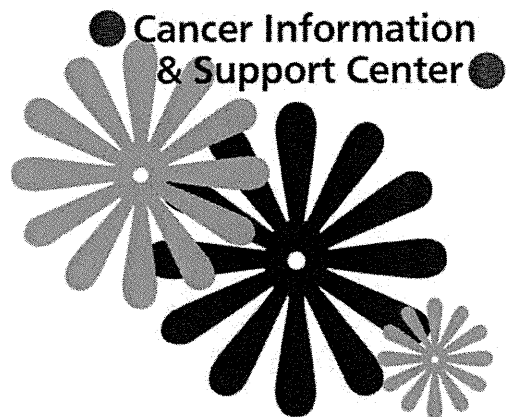
FAX： 027-386-6124

電子メール： ncc-shien@work-support.jp

◎ 7月15日（金）までに、参加証をお送りいたします。

なお、8月7日（日）開催のワークショップについては、応募者多数の場合には、参加動機などを参考の上選考後ご連絡を差し上げます。

0. 参加ご希望の会に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。			
<input type="checkbox"/> 「がん相談支援講演会」… 開催日時： 8月6日（土）11:00-17:00		<input type="checkbox"/> 「がん相談支援のプロセスの検討ワークショップ」 … 開催日時： 8月7日（日）10:00-16:30	
（いずれか一つ、または、両方にお申し込みいただくことも可能です）			
申し込み記入書			
1	ふりがな		
	お名前		
2	ご所属	病院名	1. がん診療連携拠点病院 2. その他の医療機関
		部署名	（役職： ）
3	ご連絡先	住 所	
		電話番号	
		E-mail	
4	今回の研究会／ワークショップへの参加動機、期待すること		
8月7日（日）「がん相談支援のプロセス検討ワークショップ」参加ご希望の方は、こちらをご記入ください。			
5	相談支援センターでの勤務形態	1. 専従 2. 専任 3. 兼任 4. その他（ ）	
6	現在の職種	1. 福祉職 2. 看護職 3. 心理職 4. 事務職 5. その他（ ）	
7	がん相談 件数	現在：_____件／週 （現在相談を受けていない場合：これまでの相談対応経験 1. あり 2. なし）	
8	基礎研修(3)の受講時期	1. H20 年度 2. H21 年度 3. H22 年度 4. H23 年度	



がん相談支援講演会

講義資料

2011年8月6日(土)

国立がん研究センター 特別会議室

平成21年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
H21-がん臨床—一般—003

相談支援センターの機能の強化・充実と地域における
相談支援センターのあり方に関する研究 研究班

がん相談支援講演会 プログラムともくじ

開催日：2011年8月6日（土）

会場：国立がん研究センター管理棟 1階 特別会議室

11:00-11:05	はじめに（開会）		
11:05-11:15	研究班の活動紹介		
	高山 智子	国立がん研究センター	p2
11:15-12:30	講演		
	司会：小川朝生	国立がん研究センター	
1	石川睦弓	静岡県立がんセンター	p3
	「相談記録ツールの紹介」		
2	菊内由貴	四国がんセンター	p9
	「ここ最近の愛媛県の相談支援を取り巻く動向」		
3	秋庭聖子	青森県立中央病院	p17
	「青森県の広報の方法と冊子等の情報の管理」		
4	横川史穂子	長野市民病院	p19
	「緩和ケア・がん相談支援センターの紹介」		
12:30-13:30	昼食		
13:30-15:15	講演		
	司会：唐渡敦也	がん研有明病院	
5	清水奈緒美	神奈川県立がんセンター	p25
	「（患者会）自分を取り戻す活動サポート」		
6	石田リツ子	JA 北海道厚生連 帯広厚生病院	p33
	「患者の視点に立った相談支援業務の取り組み」		
7	大石美穂	佐賀県立病院好生館	p39
	「相談支援センター発信：地域連携ネットワーク構築への取組」		
8	米田悦子・織田浩子	国立大学法人広島大学病院	p47
	「広島県のがん相談員意見交換会の取り組みの経緯」		
9	川本たか子	奈良県立医科大学附属病院	p51
	「奈良県 がん相談支援分科会の取り組み」		
10	北村周子	三重県がん相談支援センター	p57
	「三重県がん相談支援センターの取組みについて」		
15:00-15:15	休憩		
15:15-16:15	質疑応答・ディスカッション		
	司会：大松重宏 兵庫医科大学		
	岡本直幸 神奈川県立がんセンター		
16:15-16:55	全体まとめ		
16:55-17:00	おわりに（閉会）		
17:00-17:20	お知らせ		

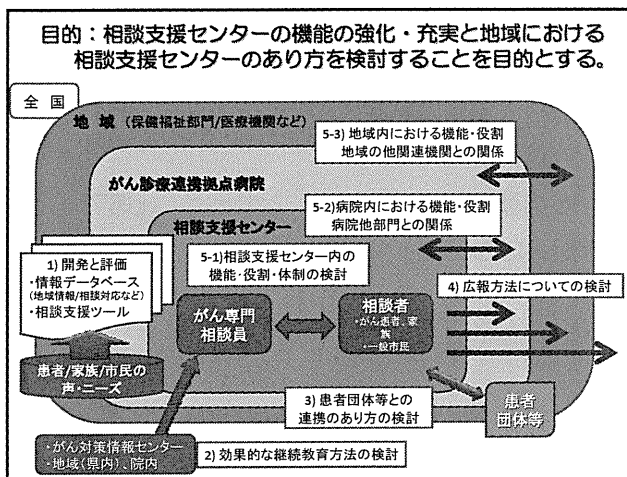
相談支援センターの機能の強化・充実と 地域における相談支援センターのあり方 に関する研究

平成21年度厚生労働科学研究費補助がん臨床研究事業
 H21-がん臨床—一般—003

国立がん研究センターがん対策情報センター
 : 高山 智子

研究班の構成

- 研究代表者
 ● 高山智子 国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部
- 分担研究者
- 朝倉隆司 東京学芸大学医療社会学、保健医療行動科学
 - 池山晴人 近畿中央胸部疾患センター・地域医療連携室
 - 石川睦弓 静岡県立静岡がんセンター研究所 患者・家族支援研究部
 - 大松重宏 城西国際大学福祉総合学部福祉総合学科
 - 岡本直幸 神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防情報研究部門
 - 小川朝生 国立がん研究センター東病院精神腫瘍学開発部・精神腫瘍学
 - 加藤雅志 国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報・統計部
 - 唐渡敦也 財) 癌研究会有明病院 医療支援センター・企画部
 - 菊内由貴 国立病院機構四国がんセンターがん相談支援・情報センター
 - 須田木綿子 東洋大学社会学部高齢者福祉・非営利活動論
 - 八巻知香子 国立がん研究センターがん対策情報センター情報提供研究部
 - 田尾絵里子 国立がん研究センターがん対策情報センター情報提供研究部



Cancer Information & Support Center
 がん専門相談員のための学習支援プログラム

「がん専門相談員のための学習支援プログラム」とは？

- ⇒ インターネットを介した学習プログラムの提供
- ⇒ がん相談に役立つ情報や学習ツールの提供
- ⇒ がん相談支援に携わる人同士による情報交換の場の提供

を旨としたウェブサイトです！

詳しくはこちらへ
 → <http://www.ciscweb.jp/>

演題 1

相談記録ツールの紹介



石川 睦弓

静岡県立がんセンター



目的

業務効率向上と質の担保のための
業務改善方法を検討する。

↓

- 情報の共有
- データの再利用
- 記録の検討

相談支援ツールの開発と評価

Shizuoka Cancer Center 2

電子データによる情報の効率化・共有化

- 相談記録
 - 検索・データベース管理・後利用が可能
 - 統計情報をまとめやすい
 - 新人の自己学習、ケースカンファレンス
- 相談FAQ：対応のための情報集積データベース
 - 効率的に、早く情報を入手可能
 - 確認相手への負担軽減
 - 一定レベルの対応の維持：質の維持

Shizuoka Cancer Center 3

相談記録における検討事項

- 記録媒体の選択
- 情報共有化の範囲・意義
- プライバシー保護とセキュリティ
- 分類（何のための分類か）
- 記録範囲と記録する意味

Shizuoka Cancer Center 4

記録媒体

□紙媒体

- パソコンに不慣れな人も問題なし
- 増えると、保管や整理、検索が大変

□電子媒体

- パソコンが必要
- パソコントラブルでデータが消えるリスクあり
- 検索やデータベース化も可能
- システムを組む費用

Shizuoka Cancer Center

5

プライバシーとセキュリティ

□情報共有の範囲

□記録の保管

- 紙媒体なら保管場所・鍵
- 電子データならパスワードや暗号化

□後利用の際の倫理的手続き

Shizuoka Cancer Center

6

相談記録ツールの特徴

□汎用性

- がん以外の相談にも同時に利用可能
- 独自の分類ラベルも継続使用可能

□無料データベース：導入費用不要

□集計機能あり

□FileMaker Proを持っていれば、カスタマイズも可能

Shizuoka Cancer Center

7

相談記録

●基本情報記録
患者氏名も追加
汎用性を持たせるため、
がん以外の記録にも
使用できる工夫

●相談内容記録
これまで記録形式を3種類
準備していたが、混乱を招く
ため、1種類とした。

●継続
継続事例の内容を確認でき
るような画面を作成した。

相談記録印刷画面
基本情報の一部と相談内容を合わせて、
•A41枚で印刷可能とした。

リスト表示
これまで同様、リスト表示できる画面を設け、検索・ソートなどを行いやすいようにした。

相談内容
記録

相談集計報告：期間指定

相談形式	相談者属性	がんの完癒状況	相談内容・小項目別
対面相談	1	がん未癒	4
電話相談	5	がん完癒	1
その他	0	不明	0
性別	1	がん未癒	1
年齢	4	がん完癒	1
職業	0	不明	0
相談者性別	1	がん未癒	1
性別	2	がん完癒	0
女性	2	不明	0

相談集計（期間指定）
集計操作を簡便にし、主な集計を日報等として、印刷することも可能にした。

相談集計報告：期間と担当者指定

基本情報 | 期間指定 | 担当者指定 | 集計 | 印刷 | 終了

検索
検索先: 相談受付日: 2017/5/31 | 担当者: 富玉山 | 検索実行

相談形式	担当者属性	がんの治療状況	相談内容：小項目別
相談形式	1	がんなし/経過中/後	4
相談形式	5	がんあり	1
相談形式	6	がんあり	5
相談形式	7	がんあり	8
相談形式	8	がんあり	9
相談形式	9	がんあり	10
相談形式	10	がんあり	11
相談形式	11	がんあり	12
相談形式	12	がんあり	13
相談形式	13	がんあり	14
相談形式	14	がんあり	15
相談形式	15	がんあり	16
相談形式	16	がんあり	17
相談形式	17	がんあり	18
相談形式	18	がんあり	19
相談形式	19	がんあり	20
相談形式	20	がんあり	21
相談形式	21	がんあり	22
相談形式	22	がんあり	23
相談形式	23	がんあり	24
相談形式	24	がんあり	25
相談形式	25	がんあり	26
相談形式	26	がんあり	27
相談形式	27	がんあり	28
相談形式	28	がんあり	29
相談形式	29	がんあり	30
相談形式	30	がんあり	31
相談形式	31	がんあり	32
相談形式	32	がんあり	33
相談形式	33	がんあり	34
相談形式	34	がんあり	35
相談形式	35	がんあり	36
相談形式	36	がんあり	37
相談形式	37	がんあり	38
相談形式	38	がんあり	39
相談形式	39	がんあり	40
相談形式	40	がんあり	41
相談形式	41	がんあり	42
相談形式	42	がんあり	43
相談形式	43	がんあり	44
相談形式	44	がんあり	45
相談形式	45	がんあり	46
相談形式	46	がんあり	47
相談形式	47	がんあり	48
相談形式	48	がんあり	49
相談形式	49	がんあり	50
相談形式	50	がんあり	51
相談形式	51	がんあり	52
相談形式	52	がんあり	53
相談形式	53	がんあり	54
相談形式	54	がんあり	55
相談形式	55	がんあり	56
相談形式	56	がんあり	57
相談形式	57	がんあり	58
相談形式	58	がんあり	59
相談形式	59	がんあり	60
相談形式	60	がんあり	61
相談形式	61	がんあり	62
相談形式	62	がんあり	63
相談形式	63	がんあり	64
相談形式	64	がんあり	65
相談形式	65	がんあり	66
相談形式	66	がんあり	67
相談形式	67	がんあり	68
相談形式	68	がんあり	69
相談形式	69	がんあり	70
相談形式	70	がんあり	71
相談形式	71	がんあり	72
相談形式	72	がんあり	73
相談形式	73	がんあり	74
相談形式	74	がんあり	75
相談形式	75	がんあり	76
相談形式	76	がんあり	77
相談形式	77	がんあり	78
相談形式	78	がんあり	79
相談形式	79	がんあり	80
相談形式	80	がんあり	81
相談形式	81	がんあり	82
相談形式	82	がんあり	83
相談形式	83	がんあり	84
相談形式	84	がんあり	85
相談形式	85	がんあり	86
相談形式	86	がんあり	87
相談形式	87	がんあり	88
相談形式	88	がんあり	89
相談形式	89	がんあり	90
相談形式	90	がんあり	91
相談形式	91	がんあり	92
相談形式	92	がんあり	93
相談形式	93	がんあり	94
相談形式	94	がんあり	95
相談形式	95	がんあり	96
相談形式	96	がんあり	97
相談形式	97	がんあり	98
相談形式	98	がんあり	99
相談形式	99	がんあり	100

相談集計（期間と担当者指定）
集計操作を簡便にし、主な集計を日報等として、印刷することも可能にした。

データ出力画面

基本情報 | 期間指定 | 担当者指定 | 集計 | 印刷 | 終了

検索
検索先: 相談受付日: 2017/5/31 | 担当者: 富玉山 | 検索実行

データ出力画面

全ての月日のデータ出力・バックアップ

指定した月日や期間のデータ出力

データ出力画面を設け、バックアップ、あるいは後利用でのデータ出力を簡便に行えるようにした。

ツール開発協力をお願い

ツールは現在開発途上であり、ツール試用者の皆さまのご意見や評価にあわせて改善しているとところです。

また、このツール開発は厚労科研の研究班高山班の分担研究で実施しているところです。

ツールにご興味を持たれた方は、ツールを試用後、A4 1 枚のアンケート調査にご協力をお願いいたします。

問い合わせ先: m.ishikawa@scchr.jp
TEL:055-989-5222 内線 5421

Shizuoka Cancer Center



演題 2

ここ最近の愛媛県の相談支援を 取り巻く動向



菊内 由貴

四国がんセンター

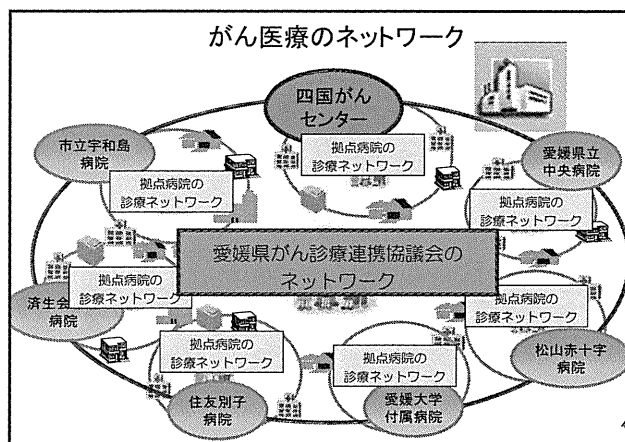
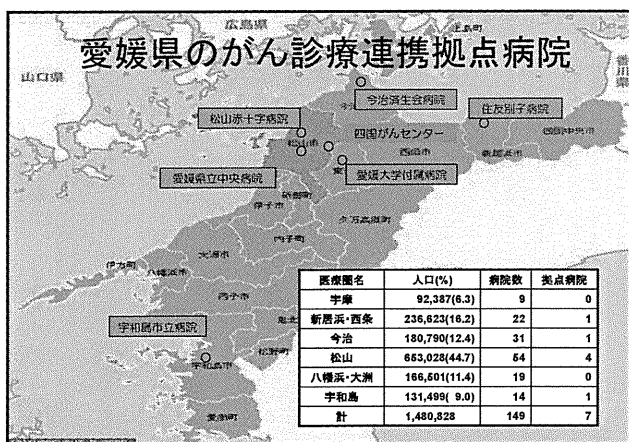


ここ最近の愛媛県の
相談支援を取り巻く動向

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
 がん相談支援・情報センター 室長
 がん看護専門看護師 菊内由貴

本日キーワード

- ・愛媛県がん診療連携協議会
- ・愛媛県がん対策推進委員会
- ・愛媛県がん対策推進条例
- ・地域医療研修センター
- ・がん患者・家族総合支援センター



愛媛県がん診療連携協議会 総会年2回開催

(1) 愛媛県におけるがん診療の連携協力体制及び相談支援の提供体制及びその他のがん医療に関する情報交換を行う。
 (2) 愛媛県内の院内がん登録のデータの分析、評価等を行う。
 (3) がんの種類ごとにセカンドオピニオンを提示する体制を有する医療機関の一覧を作成・共有し、広報する。
 (4) 愛媛県におけるがん診療連携拠点病院への診療支援を行う医師の派遣に係る調整を行う。
 (5) 愛媛県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を作成・共有する。
 (6) 愛媛県におけるがん診療連携拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修、その他各種研修に関する計画を作成する。
 (7) その他、がんの予防、診断、治療に関して必要と認める事項について協議する。

幹事会
愛媛県がん診療連携協議会の運営に関する事項を協議する

専門部会

- A) 5大がんの地域連携パス作成に関する委員会
- B) 緩和ケア、相談支援のあり方に関する委員会
- C) 院内がん登録、地域がん登録に関する委員会
- D) がんの集学的治療に関する委員会

23年度相談支援グループ活動目標

- 拠点病院の医療機能を共有する
- 各拠点病院の患者サロン活動における問題点を共有し、今後の愛媛県委託のサロン活動の課題を明確化する
- 保健所および市町に対する調査に基づき、連携関係のあり方を検討する
- 地域のがん医療の質向上のための勉強会を開催する
- 相談員の質向上のための勉強会を開催する

愛媛県がん対策推進条例

「がんになってもおどかずに笑い、安心して暮らしていける地域社会を実現して」

「愛媛県がん対策推進条例」は、県民の健康と生活の質の向上を図ることを目的として、がんの予防、診断、治療、緩和ケア、相談支援に関する施策を定めることにより、がん対策の推進を図ることを目的とする。

キーワードは「県民総ぐるみ」

すべての施策や取組が実を結び、連携し、それぞれの得意分野で力を発揮することにより、県民総ぐるみのがん対策の推進を目指しています。

愛媛県

愛媛県がん対策推進条例の概要

「愛媛県がん対策推進条例」は、このように定めています。

条例の目的は、がんの予防、診断、治療、緩和ケア、相談支援に関する施策を定めることにより、がん対策の推進を図ることにあります。

条例の範囲は、愛媛県内にあります。

条例の施行期日は、令和5年4月1日です。

条例の趣旨は、がん対策の推進を図ることにあります。

条例の目的は、がんの予防、診断、治療、緩和ケア、相談支援に関する施策を定めることにより、がん対策の推進を図ることにあります。

条例の範囲は、愛媛県内にあります。

条例の施行期日は、令和5年4月1日です。

条例の趣旨は、がん対策の推進を図ることにあります。

条例の目的は、がんの予防、診断、治療、緩和ケア、相談支援に関する施策を定めることにより、がん対策の推進を図ることにあります。

条例の範囲は、愛媛県内にあります。

条例の施行期日は、令和5年4月1日です。

条例の趣旨は、がん対策の推進を図ることにあります。

愛媛県がん対策推進条例の概要

- 県、市町、保健医療関係者、県民の責務
- がんの予防・早期発見の推進
- がん登録の推進
- がん患者などの負担の軽減
- 緩和ケアの充実
- 在宅医療の推進
- がん医療の水準の向上
- 県民総ぐるみによるがん対策の推進

愛媛県がん対策推進条例における 相談支援・情報提供に関する記述

- ・ 県は、県民のがんに関する意識を高め、及び理解と関心を深めるため、県民に対してがんに関する情報を提供しよう努めなければならない。
- ・ 保健医療関係者は、がん患者及びその家族等に対し、これらの者が求めるがんに関する情報を提供しよう努めなければならない
- ・ 県は、がんに関する正しい知識の普及啓発及び情報の提供その他のがんの予防に関する施策を講ずるものとする。
- ・ がん患者及びその家族等に対する相談体制の充実強化

愛媛県がん患者満足度調査結果(22年度)

入院患者のうち

- ・ 「実際に相談したことがある」 約10%
- ・ 「あること自体を知らない」 20%以上

実際に利用した人では

- ・ 「大いに役立った」 53%
- ・ 「まあ役立った」 19%

認知度と利用が進めば患者家族の療養の質の向上が期待できる

愛媛県がん対策推進委員会 相談支援・情報提供部会(仮)の設置

- ・ 拠点病院相談支援センターの認知度向上に向けて、具体的な方策を検討
- ・ 患者・家族への効果的な情報提供ツールの作成
- ・ 「よくある質問集」の作成

既存委員会との連携・役割分担

がん診療連携協議会: 中・長期的取り組み

がん対策推進委員会: 短期・具体的な取り組み